

これが戦時の生活!?

成年男子が次々と戦地へ送られるなか、未曾有の経済的繁栄を謳歌していた、第二次大戦下アメリカの文化・社会・生活の諸相を活写!



おなかの脂肪を相手とする銃後の戦いには、戦術計画というか、さまざまな工夫がおこなわれた(ウエストラインの防衛戦と通称される)。主婦向け雑誌マッコールズは「勝利のための苦行方式」と称するものを勧め、「……健康美を守り士気を維持するためスリムであることを心がけよ。……脂肪分と甘いものを控え、運動しよう」とアドバイスした。時を合わせたように、(戦時体型コントロール・プラン)を提供した美容室もある。(本書第4章「戦時生産」より)

——灯火管制もあった。砂糖やガソリン、タイヤや靴などのゴム製品が配給制にもなった。食肉不足から、(ビーバー・バーガー)を売り出す店まで現れた。それでもアメリカは、未曾有の経済的繁栄を謳歌した。平時から有事体制に切り替わった工場は膨大な物資を生産し、フィルムの使用制限などもありはしたが、ハリウッドは次々とニュー・スターを生み出し、「ホワイト・クリスマス」が長期間ヒット・チャートの1位を独占し、ダンスホールやナイトクラブは好景気をつづけた。平和の到来を熱望しながら、その後、朝鮮半島、ベトナム、中東で戦争に乗り出すメンタリテイの萌芽もほの見える、戦時下のアメリカ人の生活を詳細に描いた、他に類のない書!

[著] リチャード・リングマン (Richard Lingeman, 1931~): 歴史家。10歳のとき真珠湾攻撃のニュースを聞いた年少戦中派。ニューヨークタイムズ・ブックレビューの編集(1969~78年)、リベラル派政治評論誌「The Nation」の主任編集委員(1978~99年)等を歴任。1950年代、米陸軍防諜隊に所属し、日本の超国家主義者の動向をフォローしている。主著に「The Noir Forties: The American People From Victory to Cold War」(2012)など。

[訳] 滝川義人 (たきがわ よしと) イスラエル大使館前チーフ・インフォメーション・オフィサー、中東軍事紛争の研究者。訳書に、米軍公刊戦史「湾岸戦争—砂漠の嵐作戦」、A・ラビノビッチ『ヨムキプール戦争全史』、M・オレン『第三次中東戦争全史』、M・バルオン『イスラエル軍事史』など多数。



銃後のアメリカ人: 1941~1945

パールハーバーから原爆投下まで

体裁=四六判・568ページ
 定価=本体4,800円+税
 ISBN=978-4-86582-030-3

[目次]	乱立する戦時機関	歌の世界——戦意高揚から	戦時のプロドウェー
第一章 プレリュード・土曜日	第四章 戦時生産 ——世界の兵器生産	バラードまで	雑誌と広告の業界
当時の暮らし向き	自動車から航空機生産へ	ニュース重視のラジオ	検閲と自主規制
戦前最後のクリスマス商戦	制限される民生生産	第七章 物不足と闇取引	アーニー・ハイルの戦地報告
アジア情勢と国防計画	代用品の登場	配給制の導入	新聞の三面記事
対英支援と有事即応力	戦時下のファッションと嗜好品	ゴム、そしてタイヤ	漫画の世界
開戦前夜	真価を発揮した兵器の大量生産技術	ガソリン	新聞のトップ記事
第二章 本土攻撃に備えて	第五章 労働力と女性	闇取引と偽造配給券	犬と兵士、どちらが偉い?
戒厳態勢下のサンフランシスコ	戦時中の労働事情	配給制にならなかつた砂糖とコーヒー	マイナー級になったメジャーリーグ
拘束される日本人	工場労働者の日常	買ひためと節約	フットボールの最強は軍人チーム
民間防衛と相次ぐ敵機来襲	職場に進出する女性	——主婦の知恵	軍需景気でうろつた競
諜報	戦時緊急事態下の労働組合	隣組活動	バスケットボール
潜水艦の脅威と民間航空哨戒隊(CAP)	黒人差別と就業機会	戦時農園は花盛り	沈滞するボクシング
灯火管制下の生活	第六章 映画と戦意高揚	配給制にならなかつたもの	肉を求めて
風船爆弾の脅威	女優の戦時貢献	——酒、煙草	ポイント制になつたもの
防空演習	映画界への政府の規制と	肉を求めて	第八章 娯楽、気晴し、流行、愚行
第三章 激変する景観	——戦時経済と社会	肉を求めて	愚行
軍需工場地帯へ向かう人々	激変する景観	増えた家庭型娯楽	増えた家庭型娯楽
激変する景観	工場労働者の生活	ベストセラーになる	ベストセラーになる
工場労働者の生活	徘徊する子供たち	ノンフィクション物	ノンフィクション物
徘徊する子供たち	世相をうつすVガール	一億冊も配布された軍人向け図書	一億冊も配布された軍人向け図書
結婚率の上昇	結核率の上昇	大入りを続けるダンス場	大入りを続けるダンス場
首都ワシントンの戦時風景	首都ワシントンの戦時風景	好景気に湧くナイトクラブ	好景気に湧くナイトクラブ
		劇場に殺到する十代の娘たち	劇場に殺到する十代の娘たち

第二次世界大戦のミステリー

〔著〕 J・ハーウッド
 〔監訳〕 源田 孝
 〔訳〕 西澤 敦

A4 変判カラー・256 ページ
 本体5,000円+税
 978-4-86582-002-7

戦争には謀略や秘密、裏切りがつきもの。未曾有の大戦ともなれば、謎に満ちた事件は枚挙にいとまがない

人類史上、未曾有の規模で戦われた第二次世界大戦。ウィンザー公は親ナチスだったのか？ナチスが略奪した美術品の行方は？ヒトラー・ドイツのナンバー2、ルドルフ・ヘスの奇行の真意は？グレン・ミラーはアメリカ陸軍航空軍楽隊を率いてパリへと飛び立ち、そのまま消息を絶った——その真相は？真珠

湾攻撃の立役者・山本五十六の作戦の着想は？核物理学分野で圧倒的に優位であったドイツが、原子爆弾の開発に失敗したのはなぜか？——練達の歴史家ハーウッドが、終戦後70年を経てもなお謎として残されている数々の不可解な出来事を俎上にあげ、戦争の裏面で繰り広げられていた事件の真相に迫る。



ヒトラーの宣伝兵器

プロパガンダ誌《シグナル》と第2次世界大戦

現代の国家広報戦略に影響を与えた、ナチス・ドイツのプロパガンダの手法をたどる

ドイツ軍がポーランドに侵攻してほぼ半年後、1940年4月創刊の《シグナル》は、アメリカの『ライフ』『ナショナル・ジオグラフィック』をモデルに斬新なレイアウトに写真、イラスト、高度に視覚的な地図などを惜しみなく使い、またたく間に成功を取めた。

最盛期には20の言語版を隔週刊毎号250万部販売。これまでわが国ではほとんど触れられてこなかった《シグナル》の誌面そのものを紹介し、ヒトラーとナチス党がいかんにか人々を煽りたて、敗色が濃厚になるにつれ、いかに乖離していったかを明らかにする。

〔著〕 ジェレミー・ハーウッド A4判・226ページ
 〔監修〕 源田 孝〔訳〕 大川紀男(ぶれす) 本体8,000円+税 978-4-903487-99-1



デモクラシーという幻想

19世紀アメリカの民主主義と楽園の現実

「人民の、人民による、人民のための政治」が「多数派の、多数派による、多数派のための政治」に墮す政治風土を照射！

自由と民主主義との相克——19世紀後半の4人のアメリカ文学者、J・F・クーバー、W・ホイットマン、H・ジェームズ、H・アダムズの解説を通じて、異質なものをできうるかぎり排除しようとするアメリカ民主主義に内在する危険性を抽出！

「これぞ自由民の国。そうかねえ。...個人が自分の仲間である同胞をこんなにおどおど怖がっている国に来たのははじめてだ。...同類でないことが分かったとたんに、思う存分リンチを加えるお国柄だ。」(D. H. ロレンス『アメリカ古典文学研究』)

〔著〕 大島一芳 四六判・196ページ
 本体2,000円+税 978-4-86582-033-1



取り扱い書店・ご担当者様

銃後のアメリカ人

四六判・568ページ/本体4,800円+税
 978-4-86582-030-3

：1941～1945——パールハーバーから原爆投下まで

(お申し込み冊数)

冊

第二次世界大戦のミステリー

A4 変判カラー・256 ページ/本体5,000円+税
 978-4-86582-002-7

冊

ヒトラーの宣伝兵器

プロパガンダ誌《シグナル》と第2次世界大戦

A4判・226ページ/本体8,000円+税
 978-4-903487-99-1

冊

デモクラシーという幻想

19世紀アメリカの民主主義と楽園の現実

四六判・196ページ/本体2,000円+税
 978-4-86582-033-1

冊



FAX 03-3812-7504

TEL 03-3812-6504 <http://www.yushokan.co.jp/>
 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303

【取次】トーハン・日販・大阪屋栗田・八木書店・鎌谷書店 ※委託制